株式会社さんぽ道

訪問看護リハビリステーションさんぽ道

姫路市東夢前台3丁目68-1

 TEL 079-269-8640

FAX 079-269-8615

**言語聴覚士(常勤職員)増員とリハビリ部門空き情報のご案内**

平素は訪問看護リハビリステーションさんぽ道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

この度、新しく**言語聴覚士（常勤職員）**が増員されましたので、リハビリ部門の空き情報をお知らせ致します。

特に、言語聴覚士がアプローチさせて頂く内容を下記にいくつか抜粋させて頂きました。ぜひ、ご検討ください。



発音がはっきりしない「機能性構音障害」

口唇や舌等に明らかな異常や障害は認められないが、適齢（4〜5歳前後）になっても発音が上手くできない状態で、その言葉の誤りを自分で修正する事が難しく、誤った発音が習慣化している状態を機能性構音障害といいます。

口の動きや発音、ことばの発達や聴こえを評価し、音韻意識やワーキングメモリーなどにも配慮し、正確な発音のための口の構えや音の弁別、音の表出を指導していきます。

先天的な要因や後天的な要因により、ことばが出ない、出にくい・遅れている「知的障害（知的な遅れ）」

ことばの理解や表出、発達を評価し、日常生活や学習場面での助言や指導を行います。構音障害等が合併している場合は発音・発声面にも取り組みます。低緊張で運動の不器用さなどがある場合は、看護師・作業療法士・理学療法士とも連携していきます。



コミュニケーションが成立しにくい「自閉症スペクトラム症」

ソーシャルスキルトレーニング（SST）などを用いて、社会性の発達と対人関係を踏まえ、豊かなコミュニケーションを築けるような取り組みをご提案します。生活全般について、音声言語による理解や表出だけではなく、写真・イラスト・絵カード等を用いて視覚的な方法で理解や表出を促していきます。



読み書きが難しい「限局性学習症」

読み書きに必要なスキルの評価と指導に加え、学習が楽しさにつながる取り組み等を助言します。「読み書きが苦手」から起因する二次障害(学校生活での問題や自己肯定感の低下など)の予防が大事です。その上で、音韻意識・視覚的認知面などにアプローチし、さらに読み書きにアプローチしていきます。



発話が非流暢となる「吃音」

幼児期に大多数は自然治癒しますが、自然治癒に至らない場合もあります。その場合、周囲が吃音に気づかない振りをするのは、子どもの心理的な孤立を招くとされ、子どもが相談・話をしやすいように環境調整をする必要があります。また、周囲の無理解などから起因する二次障害を予防することが大事です。



お子様の特性を理解し、お子様の得意分野を生かしつつ、苦手分野は環境調整や周囲の支援・理解が得られるような助言等を行っていきます。





弊社には、言語聴覚士に加え、看護師・保健師・保育士・社会福祉士・精神保健福祉士・作業療法士・理学療法士　　などが在籍し、また放課後等デイサービス(中・高生対象)もあり、多職種・各方面から支援・アプローチが可能です。



ﾘﾊﾋﾞﾘ部門空き情報

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 　 | **月** | **火** | **水** | **木** | **金** | **土** |
| **ST****(言語聴覚士)** | **◎** | **◎** | **◎** | **◎** | **◎** | **×** |

◎：十分に受け入れ可能です。 〇：受け入れ可能です。 △：訪問地域・時間により訪問可能です。

* 6/1現在の状況です。　ご利用の際は、事前にご連絡いただければと思います。
* 弊社は、姫路市より自立支援医療機関（育成医療）の指定を受けています。　※　看護師の訪問にも空きがあります。